



クライアントを深く知り、 自ら考え、自らの言葉で伝達できる 公認会計士へ。

会計は、「会社をうつす鏡でなければならない」と言われています。

そうあるためには、単に会計や監査の基準にあてはめて結論を出すだけでは不十分だと考えます。

また、そのような監査はいつか AI に取って代わられるでしょう。

清友監査法人では、クライアントの事業・組織・人・ブランド力などを深く理解したうえで、
監査業務を行うことを推進しています。

自ら考え、自らの言葉でクライアントと向き合った先にある、本質的な成果をもたらす公認会計士を目指しています。

■ Career Step キャリアステップについて

業務の幅が広いから、将来の幅も広がります。

清友監査法人では、さまざまな業界のクライアントと関わり、監査からアドバイザリーまで幅広い業務に携わることができます。入所1年目からどんどん実務経験が積めるため、描けるキャリアの可能性も大きく広がります。



ジュニア・アカウンタント (公認会計士試験合格者)



監査実務や会計・監査に関する基本知識の習得など、実務経験を通じて担当分野の指導が行えるようになることを目指します。

シニア・スタッフ (公認会計士)



監査チームのリーダーとして現場を統括するとともに、メンバーの指導・育成も行います。

マネージャー



高度な専門知識と業務管理能力を習得し、複数のクライアントを担当しながら監査業務全般を統括します。

パートナー(社員)・ シニアパートナー(代表社員)



監査業務の最終責任者として、高度な判断力を活かした統括を行いながら、法人の経営にも携わります。



公認会計士Aのキャリアステップ!

1年目～3年目(試験合格者)

- 23歳、大学卒業後入所。ジュニア・アカウンタントとしてキャリアをスタート
- 金商法・会社法、学校法人、公益法人、社会福祉法人の監査業務を中心に、会計指導や事業再生デューデリジェンスなどの業務に広く関与

3年目～6年目(公認会計士)

- 公認会計士登録及びシニア・スタッフに昇格
- 複数の監査のインチャージ業務を担当。インチャージ業務として関与するクライアントも、上場会社等の事業会社と、学校法人や社会福祉法人の非営利法人にバランスよく関与

6年目～10年目(マネージャー)

- マネージャー昇格
- 事業会社や非営利法人のインチャージ業務が中心
- 8年目の時に初の海外出張を経験。英語をもっと勉強しておけば良かったと後悔した
- より多くの会社を見たいという思いから、9年目に東京事務所へ転勤する

10年目～(社員)

- パートナー昇格
- 一部の監査業務で業務執行社員としての関与開始

Message 先輩メッセージ



会計のプロとしての自覚を持ち、
的確なアドバイスを行える公認会計士になりたい。

Q1 公認会計士を目指したきっかけは何でしたか？

高校1年生の時に日商簿記2級に合格したことをきっかけに「もしかしたら自分は簿記が得意なのでは？」と思い、簿記に関係した仕事を探す中で公認会計士の存在を知りました。努力を積み重ねれば合格できる試験だと聞き、勉強の苦手な私が努力をすればどこまでいけるのか試してみたくなり、公認会計士を目指しました。

Q2 なぜ清友監査法人を選びましたか？

専門学校で開催された監査法人の説明会に参加し、大手監査法人と中小監査法人のどちらが自分に向いているかじっくり考えました。中小監査法人は少人数のため所員全員の人となりがわかり、周りの方と気軽に会話ができる点、早くから色々な経験を積めて早く成長できそうな点に魅力を感じ、中小監査法人を中心に調べ始めました。

そんな中で、専門学校の先生に「幅広い業務に関わることができ、明るく和気あいあいとした雰囲気働きたい」と相談したところ、先生の友人が勤務する清友監査法人を紹介していただきました。法人の就職イベントに参加して話を聞くと、普段の会話からも自分をちゃんと見て評価してもらえそうで、所員間の距離感が近いからチャレンジしたいことを聞いてもらえそうだという印象を持ちました。

Q3 清友に入って実際の雰囲気はどうでしたか？

明るく和気あいあいとした雰囲気で、私が働きたいと考えていたとおりで、入所前の印象とのギャップは少ないです。雑談を交えることで距離感が縮まり、自分から発言しやすい環境に身を置いています。

Q4 どんな仕事をしていますか？どんなことが印象に残りましたか？

私は入所後すぐに出張に行きました。出張先では、限られた時間の中で最大限のパフォーマンスを出すためのスピード感に驚き、往査前の事前準備の大切さがわかりました。また、先輩の指導を受けて、失敗を繰り返さないためには今後どうすればよいかを考えるようになりました。

Q5 今の抱負は？

会計のプロとしての自覚を持ち、たくさんの経験を積んで、的確なアドバイスを行える公認会計士を目指していきます。

先輩メッセージはホームページでも
ご覧いただけます。

<https://www.seiyu.or.jp/recruit/message/>



Q&A よくあるご質問

Q. どのような人材を採用したいと考えていますか？

会計・監査をベースとしつつ、それらを巡る様々な事象に興味・関心を持って研鑽に励み、協調性を保ちつつ長期間勤務いただける方を採用したいと考えております。

よくあるご質問はホームページでも
ご覧いただけます。

<https://www.seiyu.or.jp/recruit/faq/>



Q. どんな感じで働いていますか？

チームはクライアント毎に編成されており、パートナー・マネージャー・スタッフ、常勤・非常勤がバランスよく配置されております。チームメンバーは、よく一緒に仕事をする人もいれば、たまにしか一緒に仕事をしない人もいますが、年次の近い先輩はもちろん、パートナーまでわからないことがあれば皆でフォローする雰囲気ができています。

パートナーも現場に顔を出していることが多いため、監査中に悩ましい論点が出てきた場合、タイムリーに相談し、対応できる体制が整っています。クライアントへの往査（外勤）と事務所内作業（内勤）は7：3くらいです。

Process 採用の流れ

申込

採用面接を希望される方は、希望
事務所へのお電話又はエントリー
フォームにてお申し込み下さい。



【エントリーフォーム】 <https://www.seiyu.or.jp/recruit/entry/>

【お電話】 京都本部事務所 | TEL 075-213-7090 担当 杉浦
東京事務所 | TEL 03-3580-3621 担当 打道(うちみち)

面接

書類選考を経て一次面接（履歴書を持参）を
実施します。

【京都会場】 京都本部事務所

〒604-8134 京都市中京区堂之前町 254 番地 WEST18 6 階
（烏丸六角交差点北東角）

【東京会場】 東京事務所

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3 丁目 7 番 1 号霞ヶ関東急ビル

check!

オンライン個別相談やオフィスツアーなどの
イベントについては、ホームページをご確認下さい。

